# 戦争反対 多くの人に

## 広島派遣中学生が報告

### 町役場

被爆地、広島市への派遣で感じたことや思ったことを報告する富士見中2年生

富士見町教育委員会の平和教育推進事業で広島市に派遣された富士見中学校2年生5人の報告会が26日、町役場であった。生徒たちが被爆地で感じたことや思ったことを名取重治町長に話した。

生徒たちは5日から3日間、広島市を訪問。6日の原爆死没者慰霊式、平和祈念式典に参列し被爆者の体験も聞いた。平和記念資料館や被爆した小学校の資料館も見学。2年生全員で折った千羽鶴を広島平和記念公園の「原爆の子の像」に供え、灯籠流しで亡くなった人の冥福も祈った。

報告会で5人は「想像もできない悲惨な出来事があったことを知った」「被爆者は悲しみや苦しみに耐えてきたと思う」「悲惨な思いをする人がいないよう戦争は絶対にだめだ」ということを多くの人に伝えていきたい」などと述べた。

名取町長は「皆さんは人生を歩んでいく上で多くのものを得たと思う」と話した。生徒たちに同行した脇坂隆夫教育長は「広島で感じたこと、思ったことを自分の言葉で伝えていってほしい」と期待した。